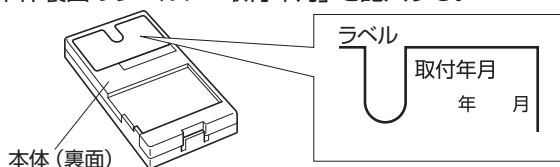
連動無線ユニット

都市ガス警報器用親子セット　型式名　CMS-01
都市ガス警報器用親機　型式名　CM-101
火災警報器子機　型式名　CM-201

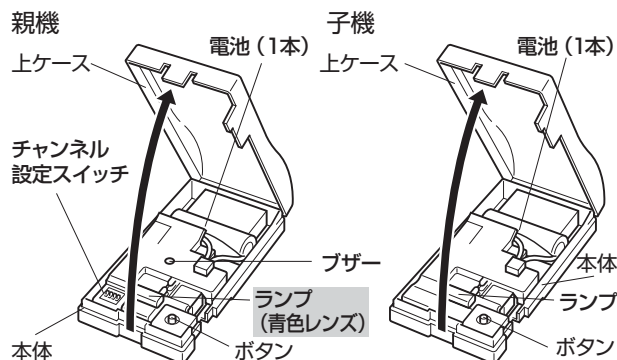
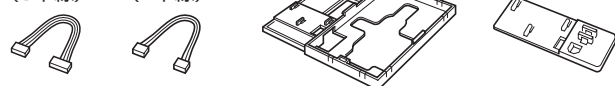
かんたん設置ガイド

連動無線ユニットの基本的な登録・設置の方法について説明しています。詳しくは、付属の「取付説明書」をご確認ください。

1 確認する

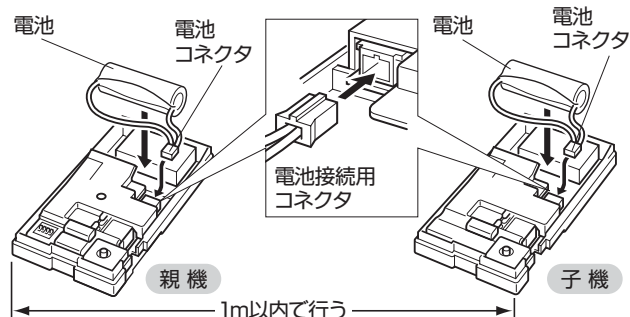
①本体裏面のラベルに「取付年月」を記入する。

②保証書（取扱説明書に付属）の「お取付日」「製造番号（親機・子機）」「（実施者）販売店」欄を記入する。

③梱包内容を確認する。

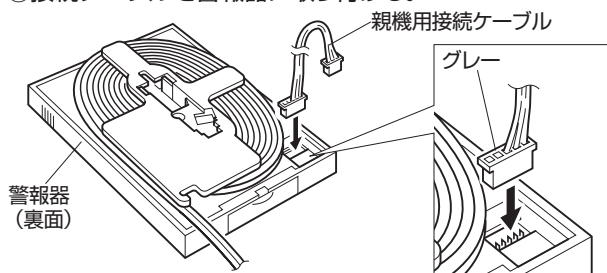
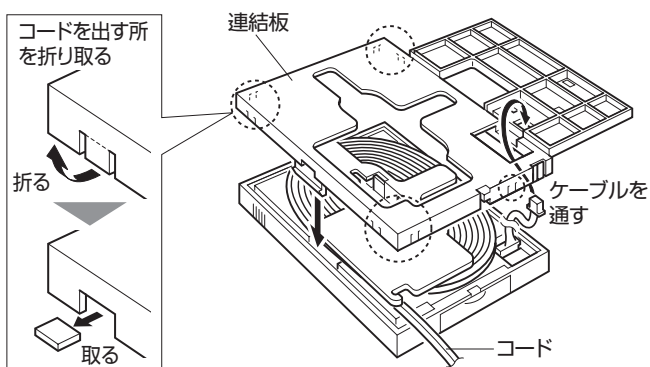
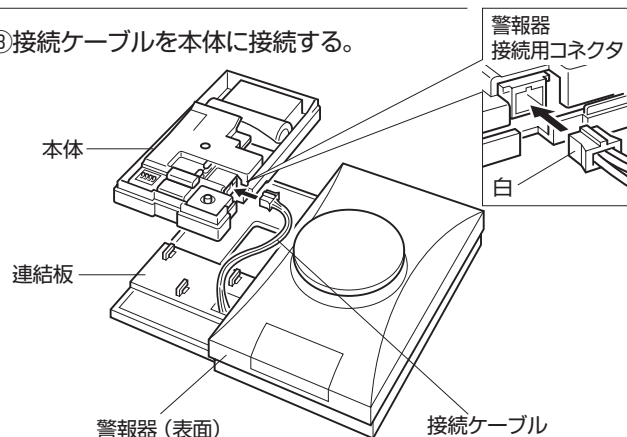
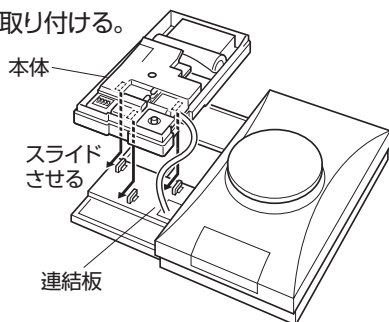
梱包内容	親子セット CMS-01	親機 CM-101	子機 CM-201
親機（本体・電池1本入り）	1	1	
子機（本体・電池1本入り）	1		1
接続ケーブル（親機用・子機用）	各1	親機用1	子機用1
連結板（親機用・子機用）	各1	親機用1	子機用1
取扱説明書(保証書付)	1	1	1
取付説明書	1	1	
かんたん設置ガイド〔本書〕	1	1	1

2 警報器に接続する

①子機を親機に近づけて（1m以内）、親機の電池コネクタを接続する。

②ブザー音とともに親機のランプが7回点滅する。その後、2回ごとの点滅に変わったことを確認したら、子機の電池コネクタを接続する。

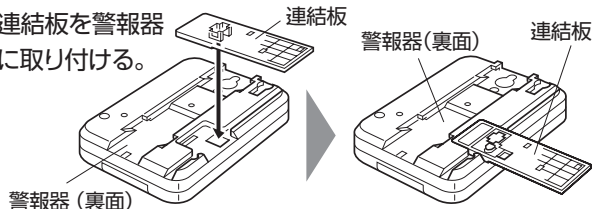
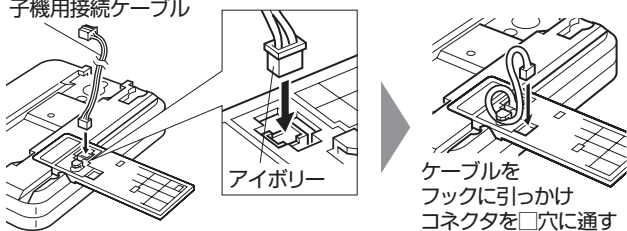
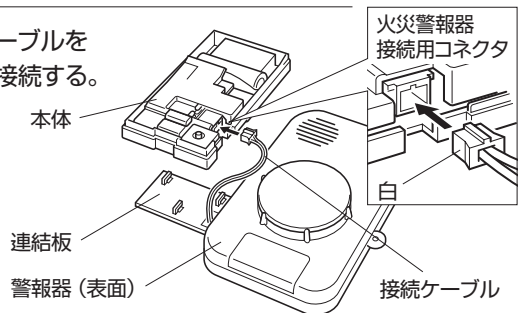
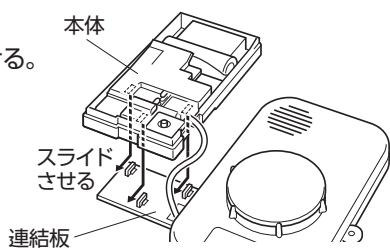
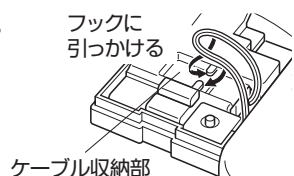
※②の状態にならない場合は、付属の取付説明書の「5-1.周囲のチャンネル使用状況確認」の②を参照する。

③親機・子機ともにランプが2秒点灯した後、消灯することを確認する。

2-1 親機の接続［ガス警報器（火災警報機能付を含む）と接続］

①接続ケーブルを警報器に取り付ける。

②接続ケーブルを連結板に通し、連結板を警報器に取り付ける。

③接続ケーブルを本体に接続する。

④本体を連結板に取り付ける。

⑤接続ケーブルを収納する。
※ケーブルの収納位置が逆になっていると、上ケースが閉まらなくなります。

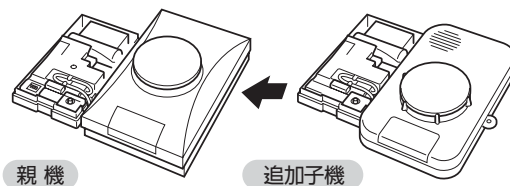
2-2 子機の接続 [火災警報器と接続]

①連結板を警報器に取り付ける。

②接続ケーブルを警報器に接続する。

③接続ケーブルを本体に接続する。

④本体を連結板に取り付ける。

⑤接続ケーブルを収納する。

3 追加子機を登録する

CM-201のみ

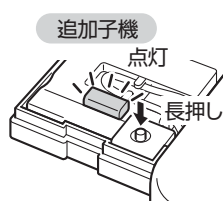
作業をやり直す場合は、各機器のボタンを4回短押しして、ランプを消灯させてください。

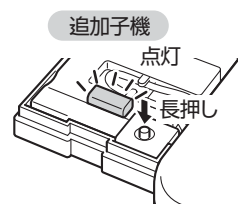
①親機に追加したい子機を近づける。

各ボタン操作後、10分以内に次のボタン操作をしないと、元の状態（ランプ消灯）に戻る

②親機のボタンを、ランプが点灯するまで長押しする。

点滅を繰り返す

③追加子機のボタンを、ランプが点灯するまで長押しする。

※追加子機が複数台ある場合は、③～④を 1 台ずつ行ってから、⑤へ進む。

点滅を繰り返す

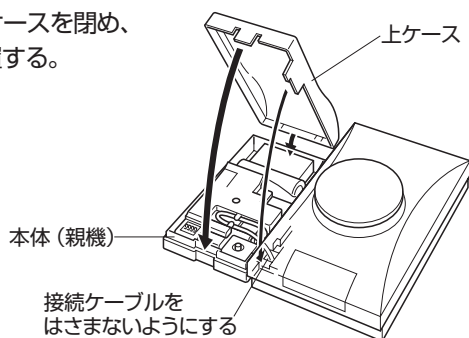
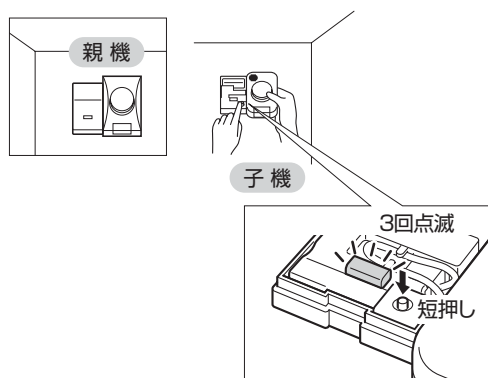
④もう1度、追加子機のボタンを、ランプが点灯するまで長押しする。登録が完了すると、追加子機のランプが消灯します。

点滅を繰り返す

消灯する

⑤すべての子機の登録が終了したら、親機のボタンを4回短押しする。親機のランプが消灯すると、作業完了です。

4 設置する

取付位置は、警報器に付属の取扱説明書を参照してください。

①親機の上ケースを閉め、
　壁面に設置する。

②子機を設置したい場所（壁面）に仮設置し、ボタンを短押しして、ランプが3回点滅することを確認する。

※ランプが2回点滅した場所にも設置可能ですが、少し通信感度が劣ります。1回点滅した場所には設置できません。

③子機の上ケースを閉め、壁面に設置する。

〈設置前に必ずお読みください〉

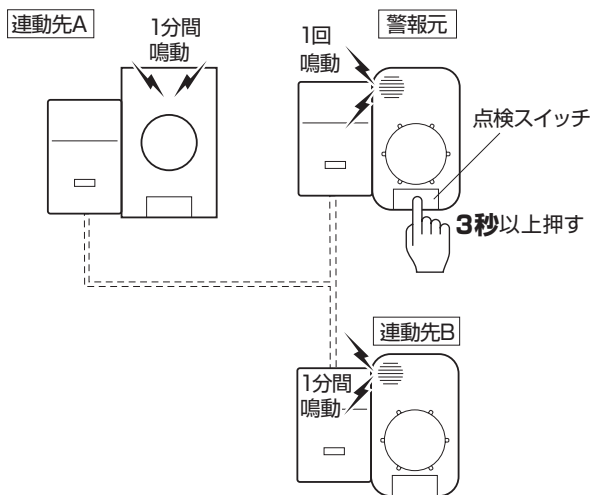
●この無線ユニットは接続した警報器との交信状況を自動的にチェックする機能を搭載しています。警報器と無線ユニットを設置してから24時間後に「接続異常」の表示がされる場合があります。
　これは無線ユニットと警報器を接続し、連動点検を行った後に、子機の電源が入った状態で、警報器の起動プラグを接続したことが原因です。
　このような誤表示を防ぐため、設置前に必ず警報器の起動プラグが抜かれていることを確認してから無線ユニットの電源コネクタを接続し直して、設置してください。
　※連動点検は、接続異常が発生している状態でも警報器の起動プラグが抜かれていれば正常に点検できます。

5 警報器の連動点検をする

事前にご近所の方や住宅管理者へ周知徹底した上で行ってください。

①警報器（いずれか1台）の点検スイッチを**3秒**以上押す。

②以下のように、接続したすべての警報器間で、
　連動していることを確認する。

警報元の警報器	1回鳴動 ▶ 監視状態
連動先の警報器	1分間鳴動 ▶ 監視状態

■警報を早く止めたいとき
警報元の警報器の点検スイッチを再度押すと、
すべての警報が停止します。

〈おねがい〉

●マイコンメータと無線連動している場合、火災警報機能付ガス警報器の電源投入後25分以内に、その警報器を警報元とした連動点検を行わないでください。マイコンメータを遮断し、ガスが使用できなくなります。万一、遮断させてしまった場合は、必ずマイコンメータの取扱説明書に基づき、復帰作業を行ってください。
●マイコンメータの連動遮断点検は、連動無線ユニットマイコンメータ用親機に付属の取扱説明書を参照して行ってください。